



S-mile 通信

相手が満足するのが親切で
自分が満足するのがおせっかい



令和8年3月15日発行 第97号

発行/理事長室 浜松市中央区大山町 2958 番地の 1

管理者研修 ～ハラスメントセミナー～

2月20日(金)現場管理者を対象に、外部講師をお招きしハラスメントの研修会を行いました。

日本生命浜松支社の市川映里奈様が講師を務め、ハラスメントの種類や現状、また企業に求められるパワハラ対策など、幅広い観点から具体例を交え講義を進めていただきました。

パワハラのはたらきには、ハラスメントに対する理解が不十分であったり、自分本位なコミュニケーションを取ってしまったりと、問題の原因が自分の中にあることに気づけていないケースが多く見られます。一般に、過去の経験や長年の価値観が影響するイメージがありますが、



実は上長だけではなく、同僚や部下からの逆パワハラも多くあるということを知りました。

発生原因の多くが相互のコミュニケーション不足であり、認識のズレからパワハラが発生してしまう要素も大きいようです。常にお互いが相手にパワハラと受け取られないような言動を心がけ、上手なコミュニケーションを図る大切さを実感した研修でした。

フォローアップ研修

R7年度三回目のフォローアップ研修を3月6日(金)に開催し、部署の異なる4名が参加されました。クレドの唱和やアメーバ経営の復習、また午後には自己覚知としてアンガーマネジメントや精神的ケアなど、一日を通し幅広く考え学ぶ研修となりました。

理事長の講和では、子どもの頃に聞いた障がいのある方のエピソードを通して、人生では感謝の気持ちを持って生きることの大切さをお話されました。

20世紀初頭、見世物小屋で興行芸人として壮絶な人生を送った中村久子さんという方がいます。3歳の時に患った突発性脱疽という病気が原因で、両手両足を切断したそうです。母親は自立した生活を送れるようにと、久子さんを厳しくしつけました。家事から裁縫や筆記、編み物など一切の身の回りのことを自分で行ったそうです。久子さんは多くの障害を乗り越え、たくましく生き抜きました。このお話を通して、健康に過ごせることは決して当たり前ではないのだと気づかされました。今ある環境に感謝する気持ちを大切にしていきたいと思います。



聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 介護実習生がみえました

2月3日(火)から3月中旬にかけ、グリーンヒルズ東山で、聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校1年外国人留学生2名の介護実習受け入れを行いました。

お二人はミャンマーと中国からの来日ですが、それぞれほほえみときらめきで23日間の介護実習を行いました。実習中は、入居者の皆様と関わりを持ちながら介護計画を立案しました。職員のアドバイスにより計画の実施や見直しを行うことで、その目的や必要性が深く理解できたことと思います。

日本語のハンディがあり大変ですが、今までも先輩の多くが実習を乗り越えプロの介護士として活躍しています。今後も学校での勉強と実習が続きますが頑張ってください。

また、長期間にわたりご対応いただいた職員の皆様には、二人のために個別指導やSVなど、現場で丁寧にご指導いただきありがとうございました。



張海琰
(チョウカイエン) さん



NANG KHAN BI
(ナンカンビ) さん

R8年度木鶏会

R8年は慶成会が木鶏会を開始して4年目になります。大事な要素である“美点凝視”を磨き、“素心”のルールを守りながら木鶏会を継続して参りました。

本を読み、感想文を書き、人前で発表するという行為は、学校を卒業してしまうと日常の中で、殆どその機会がないと思います。文章を読むことで思考力を養い、自己研鑽に努めることは、社会人・慶成会職員としての成長に欠かせない要素です。

一方、フリートークの時間も職員同士がお互いのことを知る木鶏会の大事な目的の一つです。日頃、接点の少ない他部署の方と自由に話ができる時間はとても楽しく、好きなことや興味があることなどお互いの共通項が見つかれば、更に仲間としての絆も強くなると思います。

参加者からの声では、「自分の思いを相手に聞いて貰えた」「新しい交流が図れた」「あっという間の1時間だった」など、参加の前後で気持ちに変化が見られた方が多いようです。

R8年度も引き続き、職員の皆様が交代で参加する方式となります。

改めて木鶏会の趣旨をご理解いただき、積極的に参加いただけますよう宜しくお願い致します。



過去の木鶏会の様子

介護福祉士実務者研修

毎年4月開講の介護福祉士実務者研修ですが、R8年度は5月のスタートとなります。

最初の3か月間は自宅学習による添削課題の提出、8月から11月まで全8回のスクーリングはグリーンヒルズ東山を主会場として実施予定です。慶成会の職員だけではなく、他法人の介護職員の方も合わせて申し込みを受け付けています。介護福祉士国家資格の取得を目指している方は、この機会に仲間と一緒に学んでみませんか。

期間：通信添削課題 R8年5月～7月（自宅学習による添削課題の提出）

スクーリング

介護過程Ⅲ 8月4日、18日、9月1日、15日、29日、10月13日、27日

医療的ケア・演習 11月10日、又は12日のいずれか

費用：93,500円 外国人の方は翻訳付き110,000円

※浜松市介護職員キャリアアップ奨励金対象講座が利用できます。（条件あり）

運営：HAPPY&SMILE COLLEGE

定員：最小7名 人数が満たない場合はスクーリング会場が変更になる可能性があります。

締め切り：4月30日（木）



R7年度開催
医療的ケア演習



「ビジネスマナー」基本講座のご案内

この度、全職員を対象にした外部講師による「ビジネスマナー」基本講座（仮題）を集合形式で開催します。

この講座では、マナーの5原則の他、身だしなみや挨拶など接遇マナー上何故必要なのかを、具体的事例を通して理解します。途中、お金の秘密や管理についてクイズ形式で楽しく学べる時間もあります。

日頃、マナーを意識していても突如思いがけない事態や急なハプニングにより気持ちが乱れ、思ってもいない言動で相手を傷つけてしまったり、不安や不快にさせてしまうようなことはありませんか。

自分は理解していると思っていても、繰り返し学びながら自分の行動を見直すことはとても大切です。

日 時：5月19日（火）14時～15時

場 所：地域交流室

内 容：ビジネスマナーの必要性、本質について

講 師：浜松いわた信用金庫 SDGs推進部地域貢献課 玉澤 倫子様

当日は急なご参加でも結構です。

多くの方の来場をお待ちしています。